



高崎市議会



SHINPU KAIHO

令和5年冬号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

一般会計補正予算(第9号)歳出内訳 (単位:千円)

Table with 4 columns: Item, 補正前の額, 補正額, 計. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, 衛生費, 労働費, 農林水産業費, 工商費, 土木費, 教育費, 災害復旧費, 歳出合計.

令和4年12月定例会が、令和4年11月30日から12月14日の15日間の会期で開催されました。本会議では、報告1件、承認4件、議案25件と、請願2件、意見書2件、議員提出議案1件が審議され、議案および議員提出議案については、原案可決となりました。議案等の主な内容は次の通りです。

- \*物価高騰対策農業経営安定化支援金 3億2,500万円
\*高崎市民スポーツパーク(仮称)整備事業 7,000万円
\*学校給食費 3,750万円
\*ウクライナ選手団受入事業委託料 2,100万円
\*上大島区住民センター建設補助金 4,580万円
\*移住支援金事業費補助金 3,070万円
\*マイナンバーカード申請支援業務委託料 660万円

令和4年12月定例会の報告

新風会からのごあいさつ

新型コロナウイルス感染症「第8波」と言われるほど、人数だけで見ると陽性者数は増加傾向をたどっている昨今でございますが、11月に承認された内服薬の普及も期待されており、一刻も早い沈静化を願うばかりです。師走ということもあり、忙しい日々を過ごされている方も多いかと思いますが、私たち新風会におきましても12月14日に定例議事を終え、年末業務や新しい年を迎える準備に向けて慌ただしくなってきたところでございます。

高崎駅東口再開発



12月8日に開催された都市集客施設整備特別委員会の中で、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業の施設計画案についての報告がありました。今後の計画において、事業収支改善のためホテルの誘致を計画から除き、住宅を増床する旨の発表がありました。また、当初から予定していた通り高崎商工会議所を移転することや、子ども図書館や子どもための室内遊技場整備、中小会議室やギヤラリー等を備えるパブリックゾーン整備のほか、子育てなんでもセンター等の機能整備、および老朽化した中央公民館の移転などの内容が

も連続して中止になりますと、再開するのが非常に難しくなることは容易に想像できますが、新年会やどんど焼き、その他地域の行事などは、地域の繋がりを作る貴重な機会であり、地域行事の数が減れば減るだけ、地域の繋がりは希薄になっていくものです。地域行事は、特定の役職者への負担も大きく、開催するには大きな労力が掛かるものではありませんが、それらがなくなってしまうことは、地域が地域として機能しなくなる未来にも繋がりがかねません。コロナが落ち着き、また地域の皆さまで顔を合わせられる機会が増えることを、切に願います。どうか皆さまにおかれましては、お体ご自愛いただき、素晴らしい新年を迎えられますよう、お祈りしております。

中核市サミット2022 in 豊田

10月27日(木)、愛知県豊田市において「中核市サミット2022 in 豊田」が開催されました。日本大学文理学部情報科学科助教で次世代社会研究センターの大澤正彦センター長の基調講演や中核市の市長たちによるパネルディスカッションが開かれ、各自自治体の先進事例を学ばせていただきました。高崎市は、48の中核市を対象に行われた「幸福度ランキン

グ2022年版・中核市部門」において全国6位という好成績を残したほか、メディアの露出機会なども増え、全国的に評価される都市として認知されてきました。今後も「選ばれるまち」として評価をいただけるよう、そして何よりも本市に住んでいる方々が本市に住んでよかったと思えるまちになるよう、まい進してまいります。





本市に限らず言えることですが、原油価格・物価高騰の影響により、多くの企業経営や市民生活に負担が及んでいます。本市では、家計への負担を減らすことと、地域経済の活性化を目的

高崎市民商品券

として、11月から全ての市民を対象に1人当たり5千円分の商品券の配布を始めました。商品券は、世帯ごとに順次発送され、上図のポスターが貼つてある市内3100店舗で、来年の2月末まで使えることになっています。商品券の発送完了は12月中旬となっております。この新風会報が皆さまの手に届く頃には、おそろく全てのご自宅に商品券が届いているのではないのでしょうか。使い漏れのないよう、ご利用いただければ幸いです。



2022年10月29日(土)〜2023年2月28日(火)の間、高崎光のページェント2022が開催されています。開催場所はシンフォ

光のページェント2022

ニーロード、高崎駅西口ペDESTロアンデッキ、東二条通り、慈光通り、大手前通り、柳通り、さやもーる、南銀座通り、タブノキ広場、お堀周辺といった街なかエリアで、総延長約2キロを約100万球の電球が装飾されています。この時期しか見られない幻想的な街の光景を眺めに、街なかエリアに足を運んでみてください。開催時間は17時〜22時(金・土・日は24時まで)です。



10月28日(金)、国土交通省にて清水真人国土交通大臣政務官に面会し、新風会からの要望書を提出しました。また提出に先立ち、国土交通省水管理・国土保全局治水課長補佐より、「最近の治水行政について」を学ばせていただきました。新風会は地元国会議員とも密に連携し、本市の発展に取り組んでまいります。

清水真人国土交通大臣政務官に 要望書を提出

10月28日(金)、国土交通省にて清水真人国土交通大臣政務官に面会し、新風会からの要望書を提出しました。また提出に先立ち、国土交通省水管理・国土保全局治水課長補佐より、「最近の治水行政について」を学ばせていただきました。新風会は地元国会議員とも密に連携し、本市の発展に取り組んでまいります。

キングオブパスタ2022開催結果

11月13日(日)、もてなし広場にて第14回キングオブパスタが、キングオブパスタ実行委員会の主催で開催されました。第12回、第13回は、コロナ禍の影響で参加店を回るスタンプラリー形式での開催となりましたが、今回は3年ぶりに、もてなし広場での開催が実現しました。参加者は会場と同時に複数の高崎パスタを堪能することができ、たくさん笑顔が溢れるイベントとなりました。会場には8500人が来場し、総投票数は5324票で、1位に輝いたお店はソリッソ(高岡町)、続く2位はバンビーナ筑縄店(筑縄町)、3位はリンレン(新紺屋町)という結果となりました。

キングオブパスタに出品されたメニューは、各店舗にて期間限定で提供されています。詳しい情報は左記のQRコードからキングオブパスタ実行委員会ウェブサイトに確認していただけます。ぜひ期間内に各店舗に足を運び、極上のパスタをご堪能いただけます。ればと思います。



『上州豚とSAKE香るきのこパスタ』 ソリッソ(高岡町)



『バター醤油のホタテパスタにレモンを乗せて』 バンビーナ筑縄店(筑縄町)



『トリュフ香る、5種のキノコの味ソラゲール〜RinRen風〜』 リンレン(新紺屋町)

高齢者力仕事SOSサービス

高崎市では、困り事を支援するSOSサービスとして、これまで「介護SOS」、「子育てSOS」、「高齢者ごみ出しSOS」、「ヤングケアラーSOS」といった行政サービスを展開してきました。来年度から、高齢者の力仕事を手助けするサービスを開始する予定であり、粗大ごみの処分やお米の購入、灯油の運搬、家

具の運搬などを無料で代行する行政サービスとなる予定です。来年3月の議会にて予算が上程されることとなりますが、議会の審議を通過すれば、来年9月からのサービス開始が見込まれます。支援の対象としては、70歳以上の高齢者のみの世帯と、障害者のみの世帯を予定しています。

一般質問

執：執行部答弁 議：議員発言

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問と答弁の一部です。全文および録画配信が高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、そちらも是非ご覧くださいませ。

録画配信 全文掲載



http://takasaki.gijiroku.com/voices/g07\_Shitsumon.asp



樋口 哲郎

交通安全対策について

議 本年度の重点事業の内容と進捗状況は。

執 車両の速度抑制のための狭径きょうさく(など)の設置、歩行空間の確保のための水路や側溝の蓋掛け、歩道や交差点の危険除去のための防護柵や車止めの設置等である。進捗状況としては道路の安全対策で、狭窄や車止めの設置など地域の実情に合わせた対策を実施し、19校の整備が完了した。

中小企業就職奨励金事業について

議 本事業の概要は。

執 市内中小企業に就職した若者に10万円の就職奨励金を交付する事業である。

議 現在までの申請状況や見通しは。

執 10月1日から申請が始まり、約150名からの申請を受け、審査の完了後、電子地域通貨「高崎通貨」での交付を行った。



柄沢 高男

財政分析指標から見る財務状況について

議 本市の財務状況は。

執 直近では社会福祉が増えたため、財政力指数や経常収支率などが下がったがいずれも安定し健全性が保たれている。

榛名地域の活性化と課題について

議 榛名地域の現状は。

執 10年前に比べ人口は1万8695人で14%減、65歳以上の人口は6353人で20%増、農家戸数は497戸で20年前の1/3に減少した。

議 農業への支援は。

執 ブランド力向上、6次産業化、新規就業雇用、研修などさまざまな支援を行っている。

議 鳥獣被害対策は。

執 野生鳥獣の隠れ場をなくすような里山整備や、猟友会による捕獲を行っている。

議 不耕作農地への対策は。

執 「人農地プラン」を策定し、荒廃農地発生防止や再整備する支援を行っている。

議 榛名地域が観光交流ゾーンにふさわしい地域になることを期待する。



白石 隆夫

高崎自然歩道について

議 高崎市では高崎自然歩道を50年近く整備してきたが、その現状と課題は。

執 自然歩道は、山名から少林山まで約22kmの散策路であり、市民にとって癒しの場所となっている。風雨などにより、倒木や枝葉で散策に支障をきたす場所や土砂の流失、看板等の経年変化も見られる。

議 どのような自然歩道の再整備を行うか。

執 森林環境譲与税を財源として、5年程度の計画期間で整備を行い、良好な景観形成と自然環境の保全を図りたい。

議 具体的な整備内容は。

執 案内表示板の整備、山名城址と根小屋城址の展望台の再整備を行い、眺望を確保できるようにする。また、斜面への階段の設置やぬかるみの改善などを行う。



清水 明夫

隣地から越境した枝葉の伐採について

越境した枝葉に関する民法改正が行われる来年4月以降の市の対応は。

今回の民法改正で「催告しても、竹木の所有者が相当の期間内に切除しないとき」「所有者を知ることができず、又はその所在を知ることができないとき」「急迫の事情があるとき」のいずれかに該当すれば越境した枝を切り取る事ができるようになる。法改正以後も市として越境された土地の所有者が樹木の所有者に枝を切るよう依頼することに変わりは無い。



大竹 隆一

農地再生事業について

吉井町に荒廃農地を再生し、農業参入する企業について、その概要を。

株式会社日本農業の成長産業への転換を目指し、高品質な農産物を最新技術活用した大規模生産により、国内外問わず、全世界のマーケットへ販売している「株式会社日本農業」の子会社である。既に香川県でキウイフルーツの生産に取り組んでおり、さらなる生産増目的としている。

国道254号線ハイパス延伸について  
吉井インターチェンジ入口交差点の東側から藤岡方面へのハイパス延伸の事業化は。  
県の事業になるが、この交差点は右折帯を設け、交通が滞留しない処置を講じていく。石神まで4車線、石神から藤岡までは現道と並行する2車線のハイパスとして都市計画決定はしているが、現況は未定である。



後藤 彰

中小企業の支援について

経営者保護に関する支援策などの現状について。

本市独自の支援として、ワンストップで対応する「まちなか経済情報センター」、深刻な経営相談にも応じる「経営SOS相談所」を商工会議所と連携して実施している。経営資金面の相談だけでなく、雇用や労働条件の問題などに対しても相談できる体制を整えており、相談内容によっては弁護士や社会保険労務士などの専門家による個別相談が無料で受けられる。

紛争解決の費用補助以外にも、相談窓口の設置など経営者側の負担軽減につながる労使紛争の解決支援、電力を必要とする事業者にとっては死活問題となっている、電気料高騰への対策の二点の重要性を要望する。



長壁 真樹

高浜クリーンセンター建設事業について

工事の進捗状況および交付金を含めた財政計画は。

プラント設備、建設工事の合計は379億6,080万円、国の交付金29%、起債基金65%、一般財源6%となっており、令和7年1月の竣工を目指している。

搬入路・北側斜面の竹やぶ・新施設での環境学習・地域新電力・現施設の解体および整備計画は。

西毛広域幹線道路開通に伴い、最も効率的な搬入経路を研究する。地域と協力し竹やぶ等整備に取り組み。年間3,600名が見学、環境への関心を高められるよう学習機能を持った施設となるよう整備する。8,500万KWhを見込み電力の地産地消として公共施設や企業等に供給する。解体には、設計、工事、土壌検査等で3年程度を要する。温水プールも整備予定。



松本 賢一

JR東日本高崎線新町駅付近連続立体交差化事業の推進について

事業の必要性についての認識は。

交通渋滞や踏切事故を解消するとともに、南北に分断された市街地の一体化を図り、地域のまちづくりを推進する上で必要である。

合併前の新町時代から、駅前整備用地の先行取得や特定事業整備基金の積立など、できることは最大限やってきた。本市としての取り組みは。

これまで、新市建設計画および総合計画に登載し、群馬県やJR東日本と連携して事業化の推進を図ってきた。これからの期成同盟会と連携して国や県に対し事業化の実現を目指して要望活動を行い、群馬県やJR東日本と協力しながら事業化について研究する。



青木 和也

堤ヶ岡飛行場跡地の活用について

飛行場跡地活用のこれまでの経緯や取り組みは。

堤ヶ岡飛行場跡地については、旧群馬町時代から土地利用の在り方がさまざまに検討されており、平成11年には県とともに「開発の方向性や整備の基本方針」が示されたが実現には至っていない。別途、市では、西毛広域幹線の進捗に伴う沿線開発に向けて条例の一部改正により規制緩和を行い、既に住宅や商業施設が立地しはじめている。

「まちづくりに関する調査費」の概要は。

この調査が、10年後の高崎のビジョンを見据え、100年後の群馬県の中心となるまちづくりに向けた大きな一歩となることを期待する。



丸山 芳典

山間地域の防災対策について

山間地域の災害対策は。

危険箇所総点検を実施し、その対策を講じ災害の防止に努めている。防災情報伝達は、防災スピーカー以外にもさまざまなツールを活用し伝達に努めている。令和3年度に開始した「災害時電話FAサービス」を利用してもらいたい。積雪時には、土木建築業協同組合、建設事業者等に委託し効果的な除雪に努め、さらに道路などへつながる路地等の除雪が困難な方に対して緊急応援隊を派遣し、除雪支援する。

本市の森林整備について

森林経営管理制度で所有者が手入れできない民有林の整備を進め、今後対象森林を拡大していく。森林環境譲与税を幅広く利用し、本市独自の特徴的な取り組みとして、倉測の農福連携事業で間伐材利用ポイラーの導入などにも活用していく。



大河原 吉明

本市の放課後児童クラブについて

本市の放課後児童クラブの体制と現状は。

本市の放課後児童クラブ数は101クラブで、小学校児童の約23%が利用している。また原則、地域の関係者や保護者等で組織された運営委員会への委託によりクラブは運営されている。

本市の放課後児童クラブにおける民間事業者等の参入の展望は。

運営委員会方式での運営や、市の予算内での運営を前提に、社会福祉法人や学校法人等の民間事業者が関わる運営例もある。それ故、今後も放課後児童クラブの適切な運営方法については研究を進めつつ、地域の要望を聞きながら弾力的に対応したいと考えている。



片貝 喜一郎

本市の地域自治の考え方について

本市の地域自治の考え方について。

本市では529の町内会が存在し、町内会が位置する場所や面積、世帯数などさまざまであることから、課題となつてくる事柄もそれぞれ異なっている。こうした地域課題について地域住民の皆さんがよく話し合い、解決に向けた一体となり自主的・主体的に取り組みされている活動が地域自治であると考えている。

本市における地域へのサポートの在り方について。

地域だけでは解決できない課題については承知している。地域自治の重要性を考え、今後の人口減少、少子高齢社会の進展に備え、持続可能なものとするためのサポートの在り方については、地域課題の動向を踏まえ、引き続き検討していく。



渡邊 幹治

伝統芸能の保存・継承について

地域の宝として守り伝えられてきた伝統芸能を後世に末永く伝えていくためには、保存・継承の取り組みが大変重要だと思いが、本市の支援策は。

支援の内容は各伝統芸能保存団体に対し、運営費、獅子頭や山車、太鼓等の備品の修繕・購入にかかる経費、団体が活動するための旅費等の補助を行っている。

都市計画道路の見直しについて

都市計画道路は関係する地域にとつては大きな懸案事項である。現在計画が止まっている南八幡・京ヶ島線について、今後の本市の考え方は。

南八幡・京ヶ島線については、今後、寺尾・藤岡線のハイパス工事の進捗や周辺道路の交通状況を注視し、引き続き研究していく考えである。

# 注目を集める小麦王国ぐんまの食文化



## 小麦文化の歴史

日照時間が長く、乾燥したから風・水はけのよい土壌など、麦作に適した環境が整っていることから、私たちの住む群馬県は古くから小麦の生産が盛んです。そのため、群馬には粉食文化が昔から根付いており「おつきりこみ」「水沢うどん」「ひもかわ」「焼きまんじゅう」「おやき」などの郷土料理は全て小麦に依存するものです。

また群馬県は、家庭用製麵機の普及率が全国断トツ1位の県でもあります。これは、小麦の生産が盛んであったほか、女性が活躍していた養蚕農家が多く存在したことに由来するもので、お母さんが忙しくても子どもたちだけでおつきりこみを作れるようになった理由から、約2軒に1軒が家庭用製麵機を持っていたとのこと。左の写真のような製麵機を見て「懐かしいなあ」と思う方、この会報を見ている方の中にもいらっしゃると思いますよ。



製麵機でうどんの麵を作る様子

## 注目される麵文化

全国に類を見ないイベント、パスタの祭典である「キングオブパスタ」が開催されるなど、パスタのまちとしても全国から注目を集めている高崎市ですが、実は最近ではラーメン激戦区としても群馬県や高崎市が注目を集めています。今年2月に放送された「マッコの知らない

世界」では、群馬ラーメンの特色が組まれるほど、ラーメンの盛んな地域として全国的に認知されてきております。本市からは、くる松(柳川町)、なかじま(飯塚町)、清仁軒(本町)、鳴神食堂(中泉町)が紹介されました。どれも県外から人が訪れるほどの人気店です。

## 伝説の老舗 ラーメン店「清華軒」

2018年に全国各地の映画館で放送された映画「ラーメン食いてえ!」をご存知でしょうか。この映画は、高崎出身の漫画家・林明輝氏の漫画が原作で、インターネット上に公開したウェブ漫画の閲覧数が150万ページビューを超え、待望の声が高まって映画化に至った作品です。そして、この作品のモデルになっている店舗が高崎の老舗ラーメン店「清華軒」です。1956年に創業され、高崎市民だけでなく、市外県外からも多くの方々に愛された伝説のラーメン店です。



創業当時の様子

清華軒は2016年に、店主の体調不良により閉店を余儀なくされてしまいましたが、清華軒出身の方がやっているラーメン店は今現在も市内に存在しています。正道軒(上並榎町)、恵比寿(上豊岡町)、清仁軒(本町)、麵屋八(箕郷町)がそれにあたり、どの店も人気店となっています。この中の麵屋八は、清華軒を運営していた恩田家のご家族が運営しているお店で、今この麵屋八をリニューアルし、清華軒として復

活させようという動きが出てきております。この動きに多くの方々の期待が寄せられており、新聞やネットメディア、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSでも話題となっております。

## 復活へのクラウドファンディング

現在清華軒では、クラウドファンディングをスタートしようとしているそうです。この会報が配られる頃が、おそらくクラウドファンディングの公開日前後になると思われませんが、ご興味のある方は左のQRコードより最新情報を確認ください。

▼クラウドファンディング



▼インスタグラム



このクラウドファンディングは、改装費用などに充てる資金を皆さまの支援によって集める目的のもので、資金支援をしてくれた方には清華軒オリジナルTシャツや、創業の頃から使っているラーメン丼、漫画家林明輝氏による似顔絵などを返礼品として贈る予定だそうです。ご興味のある方は、クラウドファンディングを通じて伝説のラーメン店の復活に関わってみてください。オープンは、来春を目指しているそうです。



# 新風会所属議員一覧 ~市政に関するご相談はお近くの議員まで~

会長  
**田中 治男**  
たなか はるお  
高崎市八幡原町2054  
☎027-346-3287

副会長  
**松本 賢一**  
まつもと けんいち  
高崎市新町1652-5  
☎090-6033-8421

副会長  
**時田 裕之**  
ときた ひろゆき  
高崎市浜川町1799  
☎090-4948-4450 ☎027-344-4276

幹事長  
**石川 徹**  
いしかわ とおる  
高崎市箕郷町東明屋106-1  
☎027-371-3344

副幹事長  
**白石 隆夫**  
しらいし たかお  
高崎市石原町4049  
☎027-325-5983

政調会長  
**渡邊 幹治**  
わたなべ かんじ  
高崎市倉賀野町1684  
☎027-346-6133

副政調会長  
**後藤 彰**  
ごとう あきら  
高崎市乗附町1563-27  
☎027-328-5100

議会対策委員長  
**片貝 喜一郎**  
かたかい きいちろう  
高崎市和田町6-3  
☎090-1808-7448

会計  
**樋口 哲郎**  
ひぐち てつろう  
高崎市吉井町馬庭827-1  
☎090-3245-0195

広報  
**清水 明夫**  
しみず あきお  
高崎市根小屋町2095-3  
☎050-5479-5478

会計監査  
**後閑 太一**  
ごかん たいち  
高崎市十文字町150-1  
☎027-374-0416

顧問  
**柴田 和正**  
しばた かずまさ  
高崎市金井淵町259  
☎027-343-7161

顧問  
**柴田 正夫**  
しばた まさお  
高崎市下中居町47  
☎027-322-8347

顧問  
**丸山 和久**  
まるやま かずひさ  
高崎市江木町1111-1  
☎027-323-8855

**柄沢 高男**  
からさわ たかお  
高崎市上里見町197  
☎027-374-4304

**長壁 真樹**  
おさかべ しんじ  
高崎市中室田町甲525  
☎027-374-3384

**飯塚 邦広**  
いづか くにひろ  
高崎市吉井町岩崎687-3  
☎090-5427-2201

**大竹 隆一**  
おおたけ りゅういち  
高崎市吉井町片山895-2  
☎027-387-4390

高崎市議会議長  
**根岸 赴夫**  
ねぎし ゆきお  
高崎市上中居町407-5  
☎027-326-0635

高崎市議会副議長  
**後閑 賢二**  
ごかん けんじ  
高崎市塚田町222-2  
☎027-373-2214

**丸山 芳典**  
まるやま よしのり  
高崎市倉淵町権田138-1  
☎090-2725-0817

**大河原 吉明**  
おおかわら よしあき  
高崎市京目町1634-6  
☎090-9385-8680

**青木 和也**  
あおき かずや  
高崎市福島町740-7  
☎090-5442-8248

高崎市議会 新風会  
〒370-8501  
群馬県高崎市高松町35番地1  
新風会ホームページ  
<http://www.shinpukai.com/>

